

食品安全研究会

【食品微生物研究部会】

<p>1, 2 月</p>	<p>1. 部会全体会議 2/3 13:00～17:00 於(株)ニチレイ東銀座ビル 17F 会議室 (1)各分科会の活動報告 MALDI-TOF/MS 分科会 芽胞菌分科会 (2)ICMSF2015 年次会合支援について</p> <p>2. MALDI-TOF/MS 分科会 (1)1/20 6 月開催講演会会場（中央区立日本橋公会堂）下見 (2)2/24 於 ILSI 会議室 第9回 DB 登録用菌株シーケンス同定法に関する勉強会および（公）日本缶詰びん詰レトルト食品協会の駒木先生との成果物公開に関する打ち合わせ。</p> <p>3. 芽胞菌分科会 (1)2/20 ILSI 会議室 定期打ち合わせ (2)Alicyclobacillus 危害性のまとめにかんして分担決定 (3)高温性芽胞細菌原料検査法の各社試験の状況確認 1) 乳や砂糖などの原料の検査法としては問題なし 2) 一部の原料にて判定の難しいものがある、判定手法とサンプリング量について再検討。高甘味度甘味料やインスタントコーヒー 3) 高ポリフェノールのエキス、原料類の検査には使用できない。性質上リスクは少ないと考えられたため、詳細な検査方法の検討は行わない。 (4)砂糖のリスクに関しては詳細の調査を行う。現状対応可能な砂糖・甜菜糖メーカーに関して情報調査を行い、サンプルが得られるようであれば各社分担で検査を実施し現状把握をする。</p>
<p>3, 4 月</p>	<p>1. MALDI-TOF/MS 分科会 4/21 於 ILSI 会議室 第10回 DB 登録用菌株シーケンス同定法に関する勉強会（完了）および（公）日本缶詰びん詰レトルト食品協会の駒木先生との（成果のアウトプットの仕方について）意見交換</p> <p>2. 芽胞菌分科会 (1)4/17 ILSI 会議室 定期打ち合わせ (2)Alicyclobacillus 危害のまとめに関して 接種試験実施と危害性確認の背景について文章化していく。 各社の接種試験のデータを収集し、一元化していく。 (3)高温性芽胞細菌原料検査法の各社試験の状況確認 ① 乳や砂糖などの原料の検査法としては問題なし ② 高甘味度甘味料に関してはサンプリング量を規定すれば問題なし ③ 混合原料（インスタントコーヒーと砂糖）などの場合はリスクがあるため、判定方</p>

	<p>法に関してさらに精査する。</p> <p>④ 高ポリフェノールのエキス、原料類の検査には使用できないが、茶葉、コーヒー豆、茶エキス、コーヒーエキスなどにリスクはほとんどないため問題なし。</p> <p>性質上リスクは少ないと考えられたため、詳細な検査方法の検討は行わない。合意</p> <p>(4) 砂糖のリスクに関しては詳細の調査を行う。</p> <p>現状対応可能な砂糖・甜菜糖メーカーに関して情報調査を行い、直接ヒアリングを実施する予定。</p> <p>3. チルド流通食品に関する情報交換会</p> <p>4/28 於 ILSI 会議室 チルド流通食品の微生物制御に関する情報交換と課題の整理。</p>
5, 6 月	<p>1. 食品微生物研究部会主催講演会</p> <p>「微生物同定・解析技術における MALDI-TOF MS の活用と展望」</p> <p>6/11 於 中央区日本橋公会堂</p> <p>参加人数 189 名</p> <p>2. 部会全体会議</p> <p>5/11 14:00~16:45 於 森永乳業(株) 研究情報センター</p> <p>(3) 各分科会の活動報告</p> <p>MALDI-TOF/MS 分科会、講演会準備委員会</p> <p>芽胞菌分科会</p> <p>(4) ICMSF2015 年次会合について</p> <p>(5) チルド食品に関する情報交換</p> <p>3. MALDI-TOF/MS 分科会</p> <p>6/2 於 ILSI 会議室 MALDI 講演会 最終打ち合わせ</p> <p>4. 芽胞菌分科会</p> <p>6/24 於 ILSI 会議室 定期打ち合わせ</p> <p>(1) Alicyclobacillus 危害のまとめに関して</p> <p>(2) 高温性芽胞細菌原料検査法</p>
7, 8 月	<p>1. 部会全体会議</p> <p>8/18 15:00~17:00 於 キューピー(株) キューポート</p> <p>(1) 各分科会の活動報告</p> <p>MALDI-TOF/MS 分科会、講演会準備委員会</p> <p>芽胞菌分科会、チルド食品勉強会</p> <p>(2) ICMSF2015 年次会合について</p> <p>(3) 次回部会（合宿）について</p> <p>2. MALDI-TOF/MS 分科会</p> <p>8/18 於 京王ホテル MALDI 講演会反省、今後の活動について</p> <p>3. 芽胞菌分科会</p> <p>(1) 定期打ち合わせ未実施</p> <p>(2) 7/15 ホクレン 工程高温性嫌気性菌調査の打ち合わせ</p> <p>宇都宮大学 色素変化のヒアリング</p>
9, 10 月	<p>1. MALDI-TOF/MS 分科会</p>

	<p>1) 10/6 於 産業総合研究所 佐藤浩昭先生訪問 / MALDI-TOF/MS を用いたカビ同定に関する意見交換</p> <p>2. 芽胞菌分科会</p> <p>1) 9/10、10/24 於 ILSI 会議室 定期打ち合わせ</p> <p>2) 10/22 日本清涼飲料研究会にて発表</p>
11, 12 月	<p>1) 食品微生物研究部会共催講演会 ICMSF ワークショップ「食品微生物の検査データと活用」 11/14～15 於 赤坂溜池ホール 参加人数 81 名</p> <p>2) 部会全体会議 11/27 13:00～15:00 於 東海大学海洋学部 3208 教室 11/28 10:00～12:00 於 三保園ホテル会議室</p> <p>1) 各分科会の活動報告 (MALDI-TOF/MS 分科会、芽胞菌分科会、ICMSF ワークショップ)</p> <p>2) 2015 年度活動・収支報告</p> <p>3) 次期部会長団決議</p> <p>4) 2016 年度活動について議論</p> <p>3) 勉強会 11/27 15:00～17:00 研究活動の紹介 21 名参加 講師 東海大学教授 後藤慶一先生</p> <p>4) MALDI-TOF MS 分科会 12/19 Pacificchem (環太平洋国際化学会議) 2015 にて発表 「Expansion of MALDI-TOF MS database for spoilage microorganisms in food and beverage industry.」</p> <p>5) 芽胞菌分科会 11/5 第 64 回缶詰技術大会にて発表 「清涼飲料原料の高温性嫌気性芽胞細菌標準検査法の開発」</p>

食品安全研究会

【食品リスク研究部会】

1, 2 月	<p>1. 部会全体会議 1/31 16:00~17:00 於 ILSI 事務局 (1) 各 WG 活動報告 (2) 今後の活動について</p> <p>2. 毒性学教育講座 製本完了</p> <p>3. 食品の安全性試験 WG & プロバイオティクス WG 1/31 これまでの活動の振り返り、今後の活動について議論</p> <p>4. TTC、MOE 情報収集 WG 1/31 情報共有、勉強会開催について議論</p> <p>5. アレルギーWG 1/31 キックオフ。WG の目標等を議論</p> <p>次回部会は 7 月を予定</p>
3, 4 月	<p>特になし 次回部会は 2015 年 7 月を予定</p>
5, 6 月	<p>特になし 次回部会は 2015 年 9 月を予定</p>
7, 8 月	<p>特になし 次回部会は 2015 年 9 月 11 日に開催</p>
9, 10 月	<p>1. 部会 9/11 16:00-17:00 於 ILSI 事務局 ・ 今後の活動について ・ TTC 勉強会について</p> <p>2. WG 活動 (9/11 於 ILSI 事務局) ・ 食品の安全性試験を考える会 13:00-14:00 機能性表示食品の課題について ・ MOE/TTC 14:00-15:00 勉強会開催提案 ・ アレルギー 15:00-16:00 トピックス紹介、今後の活動について</p> <p><今後の予定> 11/10 TTC 事前勉強会 12/7 部会&TTC 勉強会 (講師: 国立衛研・広瀬明彦先生)</p>
11, 12 月	<p>1. MOE/TTC ワーキンググループ: 11/10 TTC 講演会事前勉強会 於サントリーワールド ドリサーチセンター</p> <p>2. 部会 12/7 13:30-14:30 於 ILSI 事務局 ・ 今後の活動について</p> <p>3. 勉強会 12/7 15:00-17:00 於 ILSI 事務局</p>

	演題：TTC の基本的な概念と適用事例について
	講師：国立医薬品食品衛生研究所・広瀬明彦 先生 参加 19 名

食品安全研究会

【香料研究部会】

1, 2 月	
3, 4 月	
5, 6 月	
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	

【植物研究部会】

1, 2 月	バイオテクノロジー研究会としての開催で下記参照。当部会としての会合と重複
3, 4 月	バイオテクノロジー研究会としての開催で下記参照。当部会としての会合と重複
5, 6 月	バイオテクノロジー研究会としての開催で下記参照。当部会としての会合と重複
7, 8 月	バイオテクノロジー研究会としての開催で下記参照。当部会としての会合と重複
9, 10 月	バイオテクノロジー研究会としての開催で下記参照。当部会としての会合と重複
11, 12 月	バイオテクノロジー研究会としての開催で下記参照。当部会としての会合と重複

* 環境リスク評価分科会

1, 2 月	ERA プロジェクト調査報告第 20 号 (FEB 2015 号) 発刊。
3, 4 月	ERA プロジェクト調査報告第 21 号 (APR 2015 号) 発刊。
5, 6 月	ERA プロジェクト調査報告第 22 号 (JUN2015 号) 発刊。
7, 8 月	<p>ERA プロジェクト調査報告第 23 号 (AUG2015 号) 発刊。 ERA ワークショップに向けて CERA との調整中。 9/28NPT ワークショップ開催準備 農業分野におけるゲノム編集技術利用に関するワークショップ 場所：ベルサール八重洲 時間：9 月 28 日 10：00～17：40 懇親会 17：45～ 主催：ILSI Japan バイオ部会 共催：筑波大学遺伝子実験センター「形質転換植物デザイン研究拠点」 日本学術振興会 178 委員会、160 委員会 同時通訳付き 講演 東京大学 堤先生、筑波大学 江面先生 American Seed Trade Association Dr. Bernice Slutsky 農水省 鈴木室長 Dr. Martin Lema (Argentina MALF) Dr. Michael Dornbusch (Australia) Dr. Joachim Schiemann (Germany) Dr. Sally McCammon (USA USDA) パネル 筑波大 大澤先生、京都大 佐藤先生</p>
9, 10 月	<p>ERA プロジェクト調査報告第 24 号 (OCT2015 号) 発刊準備中。発刊 11 月 18 日予定 9/28 NBT ワークショップ開催。 農業分野におけるゲノム編集技術利用に関するワークショップ 場所：ベルサール八重洲 時間：9 月 28 日 10：00～17：40 懇親会 17：45～ 主催：ILSI Japan バイオ部会</p>

	<p>共催：筑波大学遺伝子実験センター 「形質転換植物デザイン研究拠点」 日本学術振興会 178 委員会、160 委員会 同時通訳付き 講演 東京大学 堤先生 筑波大学 江面先生 Dr. Bernice Slutsky (International Seed Federation) 農水省 鈴木室長 Dr. Martin Lema (Argentina MALF) Dr. Michael Dornbusch (Australia) Dr. Joachim Schiemann (Germany) Dr. Sally McCammon (USA USDA) パネル 筑波大 大澤先生、京都大 佐藤先生 参加者：規制当局、大学・公立研究機関、産業界などから 150 名以上 簡単な要約を ILSI 誌へ掲載予定</p>
11, 12 月	<p>ERA プロジェクト調査報告第 24 号 (OCT2015) 11/18 発刊。 ERA プロジェクト調査報告第 25 号 (JAN2016) 1/14 発刊予定 バイオテクノロジー研究会のホームページに新しく「作物データベース」の項目を追加</p>

* アレルギータンパク質の分析方法分科会

1, 2 月	10 月の勉強会の内容のイルシー誌掲載準備
3, 4 月	特になし
5, 6 月	
7, 8 月	
9, 10 月	特になし
11, 12 月	特になし

* 組換え体検知法分科会

1, 2 月	部会の中で ISO の現状勉強会 夏の国際会合とその後の日本での報告会への対応開始
3, 4 月	特になし
5, 6 月	特になし
7, 8 月	
9, 10 月	<p>10 月 15・16 日ミネアポリスで開催された検知法の国際ワークショップに橋田先生と近藤先生にご参加頂いた。ILSI への報告会を 11 月 20 日に予定。30 名規模。 場所：アーバンネット神田カンファレンス 3B 時間：11 月 20 日 (金) 15:30-17:00 懇親会 17:30~</p>
11, 12 月	<p>11 月 20 日 検知法の国際ワークショップ報告会 場所：アーバンネット神田カンファレンス 3B 時間：15:30-17:00 懇親会 17:30~</p>

講師：食品総合研究所 橘田先生、国立医薬品食品衛生研究所 近藤先生 約30名の参加があり、検知法に関して意見交換が行われ、現状についての理解が高まった。

バイオテクノロジー研究会

◆バイオテクノロジー研究会全体

1, 2 月	<p>部会開催 (2/3)</p> <p>ERA 調査報告勉強会</p> <p>12 月のワークショップのイルシー誌掲載準備</p>
3, 4 月	<p>部会開催 (3/31)</p> <p>ERA 調査報告勉強会</p> <p>CERA の活動に関する勉強会</p> <p>12 月のワークショップのイルシー誌掲載にむけて</p>
5, 6 月	<p>部会開催 (6/1)</p> <p>ERA 調査報告勉強会</p> <p>CERA ワークショップ開催にむけて</p> <p>検知法のシンポ (米国) と報告会にむけて</p>
7, 8 月	<p>部会開催 (7/21)</p> <p>ERA 調査報告勉強会</p> <p>ERA ワークショップ開催にむけて</p> <p>NPT ワークショップ開催に向けて</p> <p>検知法のシンポ (米国) と報告会にむけて</p> <p>部会長交代</p> <p>新部会長 山根さん</p> <p>副部会長 笠井さん、在田さん、小林さん</p> <p>担当事務局 山口さん</p> <p>なお、橋本は名誉部会長として官庁への情報提供など継続</p> <p>末木さんは名誉会員として年内を目処に事務移管</p> <p>ISO 委員会の交代は検討事項</p>
9, 10 月	<p>部会開催 (10 月 6 日)</p> <p>ERA 調査報告書第 24 号勉強会</p> <p>9 月 28 日のゲノム編集ワークショップの報告</p> <p>9 月 29 日のゲノム編集ワークショップ講師と政府との会議報告</p> <p>International Seed Federation の Dr. Bernice Slutsky との会議報告</p> <p>ILSI CERA ワークショップ開催について</p> <p>時期：来年 4-5 月</p> <p>目的に関して再度検討する。</p> <p>バイオ部会の今後の進め方</p> <p>部会はこれまでどおり 2 ヶ月に 1 回</p> <p>ERA 調査報告書は 300 報までは今と同じで進める。</p> <p>年間 3 回ぐらい外部から講師を招いて勉強会を開催。</p> <p>ワークショップ</p> <p>ILSI CERA との ERA に関するワークショップ (4-5 月)</p>

	<p>NBT ワークショップ（秋を予定）</p> <p>微生物由来の食品・食品添加物の安全性評価のあり方についてバイオ部会で今後話し合っていく。他部会への働きかけも考える。</p>
11, 12 月	<p>部会開催（11 月 20 日）</p> <p>－ERA 調査報告書第 25 号勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 林先生の文献のコピーはコピーライトの問題があるため ILSI 事務局で国会図書館などから文献コピーを入手する方法に変更。 <p>－9 月 28 日のゲノム編集ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ ILSI 誌でのワークショップの報告を各講師、モデレーターに要旨を書いて頂き、12 月 4 日までに前書きを付けて提出。 <p>－検知法の国際ワークショップ報告会</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ ILSI 誌への寄稿を近藤先生に願います。 <p>－ILSI CERA ワークショップ開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 目的：交雑種のない作物の ERA のエンドポイントとその為の評価項目に関する合意を得、それらの項目に関するデータトランスポートビリティや作用機作の情報の必要性について合意を得る。 ➤ 時期：来年 4－5 月で 2 日間。 ➤ 1 日目はオープンなワークショップ、2 日目は有識者とのクローズドなワークショップ。 <p>－作物データベースの ILSI HP への掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 非組換えワタの越冬性に関するデータの掲載を 12 月末までに行う。英語版も作成する。 ➤ ダイズについても大澤先生と相談の上、掲載の予定。 <p>今後は作物を拡げていく。</p>

栄養健康研究会

【栄養研究部会】

1, 2 月	2015 年度第 1 回栄養研究部会（1 月 20 日、ILSI1 会議室、出席者 7 名）。議題：2014 年度部会活動報告と 2015 年度活動計画、栄養とエイジング国際会議開催準備の進捗と予定、WG 勉強会の実施予定とテーマの予習。
3, 4 月	第 2 回部会全体会議（3 月 17 日 15 時—16 時 30 分、事務所会議室、出席者 10 名） 議題：①総会概要報告、②栄養とエイジング国際会議進捗と予定、③勉強会計画の進捗、④勉強会テーマの予習その 2。
5, 6 月	第 3 回部会全体会議（5 月 19 日 15 時—16 時 30 分、事務所会議室、出席者 12 名） 議題：(1)栄養とエイジング国際会議進捗と予定、(2)勉強会計画（7 月 28 日）の進捗、演題名：ミトコンドリア異常と神経疾患 ～ミトコンドリア機能解析診断と最新の治療法～、(3)勉強会テーマの予習その 3：インスリン投与による認知機能改善について。
7, 8 月	<ul style="list-style-type: none"> • 部会全体活動：連絡会開催、7 月 28 日；下記勉強会と併せて開催。栄養とエイジング国際会議準備の進捗報告、ポスター発表要領情報。連絡会開催、8 月 11 日；栄養とエイジング国際会議準備の進捗報告、役割分担について。 • WG 活動：メタボと認知機能障害 WG 勉強会（7 月 28 日）、講師；千葉県こども病院代謝科部長 村山圭先生：「ミトコンドリア異常と神経疾患～ミトコンドリア機能解析診断と最新の治療法～」、参加者 21 名。
9, 10 月	<ul style="list-style-type: none"> • 部会（9 月 15 日）： 第 7 回栄養とエイジング国際会議開催連絡会議；国際会議準備の進捗報告、ポスター発表パネル設置作業などの当前日の作業分担について。 • 第 7 回栄養とエイジング国際会議開催（東京大学弥生講堂・一条ホール、参加者 175 名）： 9 月 29 日：講演 9:00-17:10、ポスターセッション 12:10-13:40、懇親会 17:10-19:30（弥生講堂アネックス）； 30 日：講演 9:00-18:10 ポスターセッション 12:30-14:00
11, 12 月	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第 5 回部会会議（11 月 30 日、於 IILSI 会議室、11 名）、議題：第 7 回栄養とエイジング国際会議反省会、部会長会議報告、今後の活動について。 2. 「第 7 回栄養とエイジング国際会議」のフラッシュレポート提出 3. メタボリックシンドロームと認知機能障害 WG；ミトコンドリア機能に関する勉強会のフラッシュレポート提出

栄養健康研究会

*GRプロジェクト

1, 2 月	GR 法プロトコール改善のための検討を行った。
3, 4 月	
5, 6 月	GR 法プロトコール改善のための検討
7, 8 月	GR 法プロトコール改善のための検討
9, 10 月	GR 法プロトコール改善のための検討
11, 12 月	GR 法プロトコール改善のための検討

栄養健康研究会

【茶類研究部会・茶情報分科会】

1, 2 月	特になし
3,4 月	3 月 6 日、茶情報分科会を開催。茶類の有効性・安全性情報の発信に関連して、部会内特別プロジェクトの進捗確認および成果の発信に関する意見交換を行った。
5,6 月	6 月 4 日、第 35 回茶情報分科会を開催。茶類の有効性・安全性情報の発信に関連して、部会内特別プロジェクトの成果発信の進捗確認および情報交換を実施、茶成分データベース拡張に関連してデータベース用茶葉試料収集スケジュールにおける手順変更の確認を行った。
7,8 月	8 月 21 日、第 36 回茶情報分科会を開催。茶類の有効性・安全性情報の発信に関連、部会内特別プロジェクト成果発信の進捗確認および方向性の議論、関連する情報交換を実施した。茶成分データベース拡張に関連してデータベース用茶葉試料収集準備の内容確認を行った。
9,10 月	10 月 16 日、第 37 回茶情報分科会を開催。 茶類の有効性・安全性情報の発信関連、部会内特別プロジェクトの成果発信について進捗の確認を行った。 茶成分データベース拡張に関連、新規茶葉サンプル収集計画および収集済み茶葉サンプルの分析計画について見直しを行った。
11,12 月	12 月 11 日、第 38 回茶情報分科会を開催。 茶類の有効性・安全性情報の発信に関連して、部会内特別プロジェクトの成果発信について進捗確認を行った。 現行テーマである茶成分データベース拡張の収束に向けての進め方の確認と新たに取り組むテーマ案について意見交換を行った。

◆食品機能性研究部会

1, 2 月	特になし
3, 4 月	特になし
5, 6 月	特になし
7, 8 月	特になし
9, 10 月	特になし
11, 12 月	特になし

*脳機能分科会

1, 2 月	特になし
3, 4 月	特になし
5, 6 月	特になし
7, 8 月	特になし
9, 10 月	特になし
11, 12 月	特になし

*免疫能分科会

1, 2 月	特になし
3, 4 月	特になし
5, 6 月	特になし
7, 8 月	特になし
9, 10 月	特になし
11, 12 月	特になし

*ロコモ分科会

1, 2 月	特になし
3, 4 月	特になし
5, 6 月	特になし
7, 8 月	特になし
9, 10 月	特になし
11, 12 月	特になし

食品機能性研究会

◆寄付講座「機能性食品ゲノミクス」

1, 2 月	・ 第 III 期寄付講座（2013 年 12 月開始、5 年間）研究進行中。
3, 4 月	・ 第 III 期寄付講座（2013 年 12 月開始、5 年間）研究進行中。
5, 6 月	・ 第 III 期寄付講座（2013 年 12 月開始、5 年間）研究進行中。
7, 8 月	・ 第 III 期寄付講座（2013 年 12 月開始、5 年間）研究進行中。
9, 10 月	・ 第 III 期寄付講座（2013 年 12 月開始、5 年間）研究進行中。 ・ 第 II 期寄付講座の成果報告会を 12 月 1 日に開催する予定。
11, 12 月	・ 第 III 期寄付講座（2013 年 12 月開始、5 年間）研究進行中。 ・ 第 II 期寄付講座の成果報告ならびに第 III 期の中間報告会を 12 月 1 日に開催。

【Project PAN (Physical Activity and Nutrition)】

<p>1, 2 月</p>	<p>◇ テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>1/6-8 「テイクテン介護予防リーダー養成講座」 (講師: 木村美佳、岩国市・山口県)</p> <p>1/19 世田谷区主催介護予防教室 (講師: 木村美佳、世田谷区上祖師谷グループホームかたらい)</p> <p>1/26-27 震災被災地支援: いしのまきテイクテン (講師: 木村美佳、北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所、長尾生活センター、北上町大須生活改善センター)</p> <p>1/8, 13, 14, 15, 16, 20 「すみだテイクテン 第10期フォローアップ教室」 (墨田区6会場)</p> <p>2/2-4 益田市シルバー人材センター主催「介護予防リーダー養成講習」 (講師: 木村美佳、島根県益田市)</p> <p>2/6 「山倉・大角みんなの家」のイベントの一つとして TAKE10! 講習会 (講師: 木村美佳、千葉県香取市山倉地区集落センター)</p> <p>2/16 墨田区特定高齢者事業「口腔機能向上プログラム」 講義 「食べて生き生き術」 (講師: 木村美佳、墨田区役所)</p> <p>2/17-19 益田市シルバー人材センター主催「介護予防リーダー養成講習」 (講師: 木村美佳、島根県益田市)</p> <p>2/23-24 震災被災地支援: いしのまきテイクテン (講師: 木村美佳、石巻市仮設南境第2団地集会所、北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所、本地生活センター、北上町大須生活改善センター)</p> <p>2/27 「山倉・大角みんなの家」のイベントの一つとして TAKE10! 講習会 (講師: 木村美佳、千葉県香取市山倉地区集落センター)</p> <p>2/10, 17, 18, 19, 20, 26 「すみだテイクテン 第10期フォローアップ教室」 (墨田区6会場)</p>
<p>3, 4 月</p>	<p>◇ テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>3/3-5 津和野町シルバー人材センター主催「介護予防リーダー養成講習」 (島根県津和野町)</p> <p>3/24-26 津和野町シルバー人材センター主催「介護予防リーダー養成講習」 (島根県津和野町)</p> <p>4/6-7 震災被災地支援: いしのまきテイクテン (北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所、北上町大須生活改善センター)</p> <p>4/28 平成26年度「すみだテイクテン」事業終了報告 (墨田区役所)</p>
<p>5, 6 月</p>	<p>◇ テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>5/12, 14, 15, 20 「すみだテイクテン フォローアップ教室」 (墨田区4会場)</p> <p>6/9 墨田区介護予防リーダーステップアップ講座 (講師: 木村美佳、墨田区いきいきプラザ)</p> <p>6/15-16 震災被災地支援: いしのまきテイクテン</p>

	<p>(講師：木村美佳、石巻市仮設南境第2団地集会所、北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所、本地生活センター、北上町大須生活改善センター)</p> <p>6/23 TAKE10!® 講習会 (講師：木村美佳、千葉県香取市山倉地区集落センター)</p> <p>6/3, 11, 17, 19 「すみだテイクテン フォローアップ教室」 (墨田区4会場)</p>
7, 8月	<p>◇ テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>7/15, 17, 28, 30 「第11期 すみだテイクテン フォローアップ教室」 (墨田区4会場)</p> <p>7/21 墨田区広報誌「すみだ」で、27年度「すみだテイクテン」初心者教室の募集開始</p> <p>7/31 「山倉・大角みんなの家」のイベントの一つとして TAKE10! サポーター講習会 (講師：木村美佳、千葉県香取市山田公民館)</p> <p>8/7-8 「テイクテン介護予防リーダー養成講座」 (講師：木村美佳、岩国市・山口県)</p> <p>8/25-26 震災被災地支援：いしのまきテイクテン (講師：木村美佳、南境第二団地集会所、本地地区集会所、北上町大須生活改善センター、北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所)</p> <p>8/28 墨田区高齢者福祉課主催 すみだテイクテン 栄養講演会「日本人の低栄養を改善しよう～なにをどれだけ食べたらよいか」 (講師：桜美林大学名誉教授、日本応用老年学会理事長 柴田博先生、墨田区役所すみだリバーサイドホール)</p>
9, 10月	<p>◇ テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>9/3, 4, 8, 9, 18, 24, 29, 30 「第11期 すみだテイクテン本教室」 (墨田区4会場)</p> <p>9/1, 2, 10, 25 「第11期 すみだテイクテン フォローアップ教室」 (墨田区4会場)</p> <p>9/14-15 震災被災地支援：いしのまきテイクテン (講師：木村美佳、北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所、本地地区集会所、北上町大須生活改善センター、)</p> <p>9-25 「山倉・大角みんなの家」 TAKE10! サポーター講習会 (講師：木村美佳、千葉県香取市山倉地区集落センター)</p> <p>10/1, 2, 13, 14, 15, 16, 22, 27, 28, 29, 30 「第11期 すみだテイクテン本教室」 (墨田区4会場)</p> <p>10/6, 8, 21, 23 「第11期 すみだテイクテン フォローアップ教室」 (墨田区4会場)</p>
11, 12月	<p>◇ テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>11/5, 10, 11, 12, 13, 24, 25, 27 「第11期 すみだテイクテン本教室」 (墨田区4会場)</p> <p>11/9, 18, 20 「第11期 すみだテイクテン フォローアップ教室」 (墨田区4会場)</p> <p>11/4~6 第74回日本公衆衛生学会総会 ポスター発表「中山間地域における移動販売を活用した介護予防促進・見守り体制の構築」(長崎ブリックセンター・長崎市)</p> <p>11/9 墨田区介護予防サポーター養成講座 (講師：木村美佳、墨田区役所)</p> <p>11/20 テイクテンサポーター講習会 (講師：木村美佳)</p> <p>11/24 江戸川人生大学 介護・福祉学科講義「介護予防」(講師：木村美佳、篠崎文化プラザ・東京都江戸川区)</p> <p>12/8, 9, 11, 16, 22 「第11期 すみだテイクテン本教室」 (墨田区4会場)</p> <p>12/1, 2, 7, 18 「第11期 すみだテイクテン フォローアップ教室」 (墨田区4会場)</p> <p>12/4 テイクテンサポーター講習会 (講師：木村美佳)</p> <p>12/14-15 震災被災地支援：いしのまきテイクテン (講師：木村美佳、北上地区仮設</p>

	にっこりサンパーク団地集会所、本地地区集会所、北上町大須生活改善センター)
--	---------------------------------------

CHP

【Project SWAN(Safe Water and Nutrition)】

1, 2 月	2/5 AIN による進捗確認会議 (ベトナム国立栄養研究所)
3, 4 月	3/2,4,6 ILSI による進捗確認・ベースライン調査内容検討会議 (ベトナム国立栄養研究所) 4 月 倫理委員会によるベースライン調査実施承認 (ベトナム国立栄養研究所)
5, 6 月	5/19-22 事前調査実施 (インドネシア、カラワン県・ボゴール県) 5/29 ハナム省において SWAN 紹介。SWAN の実施を決定 (ベトナム) 6/8 ニンビン省において SWAN 紹介。SWAN の実施を決定 (ベトナム)
7, 8 月	◇ AIN 支援事業「ベトナム農村地域における母親の離乳食作り支援事業」 7/8-17 ベースライン調査実施 (ターイグエン省、ベトナム) 7/19-28 ベースライン調査実施 (バクザン省、ベトナム) 8/19-20 進捗確認会議 (ベトナム国立栄養研究所)
9, 10 月	特記事項なし
11, 12 月	11/23, 24, 25, 27 「ベトナム農村地域における母親の離乳食作り支援事業」活動モニタリング (高梨、ターイグエン省・バクザン省、ベトナム) 11~12 月 地域ヘルスワーカーによる料理教室、栄養・食品衛生教育、栄養不良児の母親を対象とした栄養カウンセリング (ターイグエン省・バクザン省、ベトナム) 12 月 WHO, UNICEF, USAID 共同出版による“Improving nutrition outcomes with better water, sanitation and hygiene: Practical solutions for policies and programmes” に、住民参加アプローチの好事例として、ベトナムにおける SWAN1-2 の取り組みが紹介された。

CHP

【Project IDEA (Iron Deficiency Elimination Action)】

1, 2 月	<p>1-2 月 ベトナム：鉄と亜鉛の強化米をマーケットで実証試験を実施するために、ベトナム国立栄養研究所が中心となり試験用プロトコルを開発中。2015 年第 2 四半期に実証試験を開始予定。 フィリピン：ミンダナオ地区の精米工場に、鉄剤の擬似米（プレミックス）を商業生産するエクストルーダーを設置完了。試運転中。</p>
3, 4 月	<p>3-4 月 ベトナム：2015 年第 2 四半期に開始予定の、鉄と亜鉛の強化米をマーケット投入する実証試験のプロトコルをベトナム国立栄養研究所中心に開発。鉄、亜鉛を含むプレミックスはフィリピン FNRI で製造。 フィリピン：ミンダナオ地区の精米工場に、鉄剤の擬似米（プレミックス）を商業生産するエクストルーダーを試運転中。</p>
5, 6 月	<p>5/16 Fortification Meeting 「世界の栄養強化米プロジェクトの現状と今後の展望」 （対象：第 12 回アジア栄養学会議参加者等、於：横浜） 5-6 月 ベトナムの学童（8-9 歳児）のリジン欠乏調査を目的に、約 600 名の学童を対象として 9 月に 3 日間にわたる食事摂取量聞き取り調査を策定 （Thai Binh 省、ベトナム） 6 月 平成 27 年度農林水産政策科学研究委託事業に「インド・ベトナムにおける栄養強化米の栄養改善効果の評価とビジネスモデルの構築に関する研究」というテーマで応募。</p>
7, 8 月	
9, 10 月	<p>9/17-18 栄養強化米プロジェクト第二回コンソーシアム会議（ダバオ・フィリピン、出席者 21 名）</p>
11, 12 月	<p>11/4 官民連携を通じた 途上国の栄養改善事業支援セミナー（栄養改善事業支援プラットフォーム準備作業グループ主催）出席</p>

CHP

◆CHP 全体

1, 2 月	1/9 ニューズレター（英語版）発行（No.20）
3, 4 月	
5, 6 月	
7, 8 月	7/21 ニューズレター（日本語版）発行（No.21） 8/5 ニューズレター（英語版）発行（No.21）
9, 10 月	
11, 12 月	12 月 ニューズレター（日本語版）発行（No.22）

国際協力委員会

<p>1, 2 月</p>	<p>平成 26 年度農林水産省食品産業グローバル展開インフラ整備委託事業報告会「食品産業のグローバル展開～アジア地域の食品規格等に関する調査とデータベース～」 日時：平成 27 年 2 月 19 日（木）午後 1 時～5 時 場所：都道府県会館 402 号室 参加者：90 名 プログラム：以下の通り</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 食品産業グローバル展開インフラ整備委託事業：農林水産省 食料産業局輸出促進グループ長 山田英也 2. アジア地域の食品規格等に関する調査とデータベース：ILSI Japan 特別顧問 浜野弘昭 3. ASEAN における食品添加物規格データベースと食品規格基準ハーモナイゼーションに係わる ILSI の協力活動：Mr. Keng Ngee Teoh, Senior Manager, Scientific Programs, ILSI Southeast Asia Region 4. ASEAN 食品規格基準ハーモナイゼーションの進捗状況：Professor Dedi Fardiaz, Department of Food Science and Technology, Bogor Agricultural University 5. 食品産業のグローバル展開：日経 BP 社 特命編集委員 宮田 満
<p>3, 4 月</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 3 月 13 日（金）平成 26 年度農林水産省「食品産業グローバル展開インフラ整備委託事業のうち食品規格基準等調査」の報告書提出、18 日（水）に完了検査を終了し、同日ウェブサイト（http://www.shokuhin-kikaku.info）公開。 • 4 月 15 日（水）ウェブページの情報更新、PDF 版を ILSI Japan のホームページに掲載。 • 平成 27 年度第 1 回委員会を 5 月 14 日（木）15～17 時に開催予定。
<p>5, 6 月</p>	<p>2015 年第 1 回国際協力委員会 日時： 2015 年 5 月 14 日（木）15:00 – 16:50 場所： ILSI Japan 会議室、14 名出席</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 農水省プロジェクトについて <ol style="list-style-type: none"> a) H26 年度調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各支部から集めたデータを整理し、日本語訳 ・ データベース化し、Web 上で公開（3/18） ・ 4 月に改訂版を掲載--5 月時点で登録ユーザー数 320 名 ・ 国別に PDF 化して ILSI Japan の Website に掲載 ・ フォローアップ b) H27 年度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 5 月下旬～6 月上旬に公募の見込み 2) その他 <ol style="list-style-type: none"> a) コーデックス汚染物質部会（CCCF）報告 b) コーデックス食品添加物部会（CCFA）報告 c) BeSeTo 会議：11 月頃韓国で開催される予定 d) アジア栄養学会議：5/14-17 横浜 e) ifia Japan 2015 国際シンポジウム：5/20 東京ビックサイト

	<p>2015年第2回国際協力委員会 日時： 2015年6月25日(木) 15:00-16:50 場所： ILSI Japan 会議室、18名出席 農水省プロジェクトについてH27年度調査</p> <p>a) 契約状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5/27 公示、6/2 説明会、6/12 入札・提案書提出、6/15 企画提案会、6/17 開札 ・ 統合入札方式(技術点+価格点)で競合2社(野村総研、アイ・シー・ネット)を抑え ILSI が落札、6/26 に契約締結 <p>b) 調査内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規調査対象国：UAE、ブラジル - ILSI 中東支部、ブラジル支部、およびコンサルタント会社に調査依頼する ・ 新規調査項目：菓子類(UAE、ブラジルは対象外)、米菓、レトルト食品、麺類(乾麺)、製造工程認証(適用の有無(任意 or 必須)) <p>c) 調査日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8月中に各支部に調査票を送付、11月までに調査票を回収 ・ 12月～来年2月までに、調査票の日本語訳、集計、整理(大部のものは原本のみまたはリンクを張る)、3/14 報告書提出 <p>d) 会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査会議(海外) <ul style="list-style-type: none"> - 8月マニラ(8/3 16:00-18:00) - 8/4-5 ILSI 東南アジア地域支部主催の栄養表示セミナー開催の前日に設定し、調査依頼内容について説明・確認を行う。 - 東南アジアの他、日本、インド、中国、台湾支部が参加(韓国は不参加か) - 国際協力委員会メンバーから2-3名参加(旅費+1泊分をプロジェクトで負担) - 11月済州島(BeSeTo開催時)、1月フロリダ(本部総会開催時) ・ ワークショップ：12月ハノイ(orカンボジア)、2月東京 <p>e) データベース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現行データベース見直し、国別(現行)ではなく、食品分類別も追加、ロシアの調査結果(アイ・シー・ネット社)も統合する ・ 英語版データベースも11月までに整備する <p>*次回は、7/22(水) 15:00-16:00(事務局会議室)</p>
7, 8月	<p>第3回国際協力委員会 2015年7月22日(木) 15:00-16:00 (ILSI Japan 会議室)、出席者17名</p> <p>第4回国際協力委員会 2015年8月25日(火) 15:00-16:20 (ILSI Japan 会議室)、出席者16名</p> <p>1. 農水省プロジェクトH27年度調査の進捗状況(2015/06/26農水省と契約)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局より、山口、浜野が ILSI 中東支部(7/9)、ブラジル支部(7/13)を訪問、調査を依頼。 ・ UAE <ul style="list-style-type: none"> - ILSI 中東支部：年内に正式発足の見込み(会長予定者がヨルダン人で、発足にはヨルダン政府の承認が必要) - UAE 大学、コカコーラ、ネスレ、モンデリーズから打合せに出席。 - ほぼ CODEX に準拠しており、調査は可能。10月までのドラフト作成を要請。 - 調査できない部分については、コンサルタントに調査を依頼予定。 - UAE の食品法規取得については、申請者ベースでの使用を許可するもの。従って、調査データの情報公開については、ハードルがある。農水省からの要請があればそのハードルは低くなると考えられる。 ・ ブラジル <ul style="list-style-type: none"> - ILSI ブラジル支部(サンパウロ)で打ち合せ。 - ブラジル支部は極めてサイエンティフィックな活動を実施している集団であり、食品規格等の調査は難しい。但し、個別食品の調査に関しては、コンサルタントベースで

	<p>の対応が可能であり、依頼した。</p> <p>2. 調査会議 (8/3 16:00-18:00、マニラ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東南アジア地域支部の他、日本、中国、韓国、台湾支部が参加 (インドは不参加) ・ 調査依頼内容について説明・確認を行い、合意 (インド支部も別途合意)。 <p>3. 国際会議 / 報告会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際会議：12月前半にベトナム (ハノイ)、報告会：平成28年2月東京を予定。 <p>4. 第7回 BeSeTo 会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11/10-11 済州島 (韓国)。11日午後には ILSI Korea20 周年記念シンポジウム。 ・ 例年、食品安全、リスク評価、規制問題、支部間協力に関する議題について議論。 ・ 議題候補として、日本での新食品表示法の施行 (食品表示基準、機能性表示食品を含む)、第7回栄養とエイジングの報告、平成27年度農水省プロジェクトの進捗状況に加えて、HACCP 義務化の動き、異物混入事案への対応例、放射能対策、トランス脂肪酸、などが挙げられた。次回会議で決定する。 <p>* 次回は、9/24 (木) 15:00-17:00 (事務局会議室)。</p>
9, 10 月	<p>第5回国際協力委員会：</p> <p>2015年9月24日 (木) 15:00 – 16:20、出席者15名</p> <p>第6回国際協力委員会：</p> <p>2015年10月29日 (木) 15:00 – 16:20、出席者13名</p> <p>1) 農水省 H27 年度事業調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査依頼：ブラジル (コンサルタント) から調査資料 (英語) が到着、編集作業は BeSeTo 会議以降に開始 <p>2) 国際会議打合せ：</p> <p>10月6-8日に山口、浜野がベトナム (ハノイ) (VFA 及び NIN) を訪問、国際会議を12月15日 (火) ハノイで開催</p> <p>3) 第7回 BeSeTo 会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 済州島 (韓国) で開催。 ・ 11/10-11 本会議。11日午後～12日は ILSI Korea20 周年記念シンポジウム。 ・ 日中韓の他、東南アジア地域支部、台湾支部が参加 (インドはおそらく不参加)。 ・ 議題： <ol style="list-style-type: none"> 1. 食品安全：日本からのプレゼンは無し 2. リスク評価：日本における食品中の砒素の管理 (高橋) 3. 規制問題：機能性表示食品制度等 (浜野氏)、日本における食品添加物の認可状況 (小野)、日本における HACCP 導入支援 (土屋) 4. 支部間協力：農水省プロジェクトについて (浜野)、「栄養とエイジング」国際会議報告 (山口) ・ 「イルシー」誌の報告記事は滑川が執筆。 ・ 来年は中国で開催する予定。 <p>4) 次回会議は12/3 (木) 15:00-17:00 (事務局会議室)。</p>
11, 12 月	<p>第7回 BeSeTo 会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11/10-11 済州島 (韓国) ☆ 食品安全：韓国、中国、台湾から発表、日本からのプレゼンは無し ☆ リスク評価：中国から RTE 食品中のリステリアについて、日本における砒素の管理 (ネスレ高橋氏)、韓国から食品中の砒素について発表 ☆ 規制問題：機能性表示食品制度等 (浜野氏)、添加物の認可状況 (味の素小野氏)、HACCP (ヤクルト土屋氏)。他に中国、韓国、台湾から発表

☆ 支部間協力：農水省プロジェクトについて（浜野氏）、「栄養とエイジング」国際会議報告（山口氏）

- ・ 「イルシー」誌の報告記事は長瀬産業滑川氏が執筆
- ・ 来年は中国（おそらく北京）で9月頃開催される予定

12月3日（木）15:00 – 16:20 第7回委員会会議

- ・ ILSI Japan 会議室 参加者 16名
- ・ 農水省プロジェクト H27 年度調査について
 - ・ ブラジル、中国、インド：調査資料（英語）が到着
 - ・ 台湾、香港：近日到着予定
 - ・ 韓国、UAE、東南アジア：年内に到着予定
 - ・ 順次、和訳（外注）を行い、編集作業は年明けに開始

ワークショップ（Food safety and standards）：

- ・ 12月15日（火）09：00-17：00 （Hilton Hanoi Opera）
高橋氏（ネスレ）が砒素、浜野氏が機能性表示、五十嵐氏（食品分析センター）が栄養機能食品成分の分析について発表

次回は、1/19（火）15:00-17:00（事務局会議室）

【情報委員会】

1, 2 月	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催 2 回 (1 月、2 月) 2. ホームページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務としての更新 (随時) 3. 「栄養学レビュー」誌 <ul style="list-style-type: none"> ・ 23 巻 2 号 (通巻 87 号) : 編集 (2/28 発刊) ・ 23 巻 3 号 (通巻 88 号) : 翻訳・監修 (5/10 発刊予定)
3, 4 月	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催 2 回 (3 月、4 月) 2. ホームページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務としての更新 (随時) 3. 「栄養学レビュー」誌 <ul style="list-style-type: none"> ・ 23 巻 3 号 (通巻 88 号) : 編集 (5/10 発刊) 23 巻 4 号 (通巻 89 号) : 翻訳・監修 (8/10 発刊予定)
5, 6 月	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催 2 回 (5 月、6 月) 2. ホームページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務としての更新 (随時) 3. 「栄養学レビュー」誌 <ul style="list-style-type: none"> ・ 23 巻 3 号 (通巻 88 号) : 5/10 発刊 ・ 23 巻 4 号 (通巻 89 号) : 監修・編集 (8/10 発刊予定) ・ 24 巻 1 号 (通巻 90 号) : 翻訳中 (11/10 発刊予定)
7, 8 月	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催 1 回 (8 月) 2. ホームページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務としての更新 (随時) 3. 「栄養学レビュー」誌 <ul style="list-style-type: none"> ・ 23 巻 4 号 (通巻 89 号) : 編集、8/10 発刊 ・ 24 巻 1 号 (通巻 90 号) : 翻訳・監修 (11/10 発刊予定)
9, 10 月	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催 2 回 (9 月、10 月) 2. ホームページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務としての更新 (随時) 3. 「栄養学レビュー」誌 <ul style="list-style-type: none"> ・ 24 巻 1 号 (通巻 90 号) : 編集 (11/10 発刊予定) ・ 24 巻 2 号 (通巻 91 号) : 翻訳 (2/10 発刊予定)
11, 12 月	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催 2 回 (11 月、12 月) 2. ホームページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務としての更新 (随時) 3. 「栄養学レビュー」誌 <ul style="list-style-type: none"> ・ 24 巻 1 号 (通巻 90 号) : 編集 (11/10 発刊)

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">• 24 卷 2 号 (通卷 91 号) : 翻訳、監修、編集 (2/10 発刊予定)• 11/25 編集委員会 (通卷 92 号採択論文決定) |
|--|---|

***編集部会**

1, 2 月	<ul style="list-style-type: none">・ 「イルシー」誌 120 号、発行・ 「イルシー」誌 121 号、原稿査読・編集
3, 4 月	<ul style="list-style-type: none">・ 「イルシー」誌 121 号、122 号、原稿査読・編集
5, 6 月	<ul style="list-style-type: none">・ 「イルシー」誌 121 号発行・ 「イルシー」誌 122 号、123 号、原稿査読・編集
7, 8 月	<ul style="list-style-type: none">・ 「イルシー」誌 122 号、発行・ 「イルシー」誌 123 号（国際会議アブストラクト）、原稿査読・編集
9, 10 月	<ul style="list-style-type: none">・ 「イルシー」誌 123 号、発行・ 「イルシー」誌 124 号、125 号、原稿査読・編集
11, 12 月	<ul style="list-style-type: none">・ 「イルシー」誌 124 号、発行・ 「イルシー」誌 125 号、原稿査読・編集

事務局

【ILSI Japan 総会】

1, 2 月	<p>平成 27 年度通常総会が平成 27 年 2 月 19 日(木)10:00 より都道府県会館 402 号室で開催されました。</p> <p>審議事項</p> <p>第 1 号議案 平成 26 年度事業活動報告書が承認されました</p> <p>第 2 号議案 平成 26 年度決算報告書が承認されました</p> <p>第 3 号議案 平成 27 年度事業活動計画書が承認されました</p> <p>第 4 号議案 平成 27 年度収支予算書が承認されました</p> <p>報告事項</p> <p>○ILSI 本部総会が 1 月 16 日より 21 日まで、米国アリゾナ州フェニックス近郊で開催され総会の報告次のようにされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コカ・コーラ社のサポートにより、Malaspina International Scholar Travel Award が創設され、各地域から 10 名の若い研究者が参加し、日本から中西由季子教授(人間総合科学大学)が受賞した。 ・ ILSI Middle East(中東)支部設立に向けた study Group を承認。3 年連続の新設となる。 ・ 「One ILSI Approach : 産官学研究者協働の下、健康な生活を目指し科学に基づいた解決策の適合性、影響力の強化を図る」推進。4 つの科学的主題領域(食品安全、リスクサイエンス、栄養・健康、持続的農業と栄養安全保障)の活動報告がされた。 <p>○日本の食品の安全性を考えると食品の安全性・環境・フードシステム全体を扱う「新しい研究部会活動」を立ち上げたいとの提案が行われた。</p>
3, 4 月	
5, 6 月	
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	

【事務局】

1, 2 月	
3, 4 月	
5, 6 月	
7, 8 月	
9, 10 月	
11, 12 月	<p>ILSI Japan 平成 28 年度通常総会を下記のとおり開催します。</p> <p>日時：平成 28 年 2 月 17 日 (水) 午前 10 時～</p>

	<p>場所：アーバンネット神田カンファレンス</p> <p style="text-align: center;">http://kanda-c.jp/access.html</p> <p>また、同日午後には平成 27 年度農林水産省委託事業「食品産業グローバル展開インフラ整備委託事業のうち食品規格基準等調査」の報告会が予定されています。</p>
--	--

【理事会】

1, 2 月	<p>平成 27 年度第 1 回理事会が平成 27 年 2 月 4 日（水）に開催されました</p> <p>審議事項</p> <p>第 1 号議案 平成 26 年度事業活動報告書が承認されました</p> <p>第 2 号議案 平成 26 年度決算報告書が承認されました</p> <p>第 3 号議案 平成 27 年度事業活動計画書が承認されました</p> <p>第 4 号議案 平成 27 年度収支予算書が承認されました</p> <p>報告事項</p> <p>1 ILSI Japan 総会は 2 月 19 日(木)午前 10 時より都道府県会館にて開催し午後には、平成 26 年度農林水産省食品産業グローバル展開整備委託事業「アジア地域の食品規格等に関する調査とデータベース」についての報告会を行うとの報告があった。</p> <p>2 本部総会が 1 月 16 日から 21 日まで米国アリゾナ州フェニックス近郊にて研究財団、1 国際支部、15 地域支部から 330 名が参加して開催された等の報告があった。</p> <p>3 ILSI 本部役員会に於いて ILSI JAPAN CHP の活動報告及び今後の活動のあり方について説明。本部からは、資金確保・本部活動としての進め方について研究するスタディグループ（ファンブラーデレン ILSI 副会長をリーダーとする）を設置し結論を出すとの報告があった。</p>
3, 4 月	
5, 6 月	<p>平成 27 年度第 2 回理事会が平成 27 年 6 月 3 日（水）午前 10:00 より開催されました。</p> <p>○審議事項 なし</p> <p>○報告事項</p> <p>1. 第 7 回栄養とエイジング国際会議進捗状況について報告されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「2015 年秋に向けたスケジュール」 ・参加登録 web 近畿日本ツーリストが管理運営 ・同時通訳関連 サイマルに依頼する予定 ・募金 辻村理事に財務委員長を依頼し企業を中心に寄付金を募る。 ・レセプション 9 月 29 日一条ホールセイホクギャラリーで実施予定。 ・ポスターセッション 30 枠を用意している。 ・プログラム、アブストラクト集、プロシーディングス <p>2. アジア栄養学会議について報告されました。</p> <p>5 月 15, 16, 17 日横浜で実施約 3,300 名の参加者があった。</p> <p>ILSI Japan は下記の項目で参加した。</p> <p>1) 二つの科学セッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Food Safety Program in Asian Countries ・ Micronutrient Fortification Program <p>2) ILSI 展示ブース</p> <p>3. 農林水産省プロジェクトについて報告されました。</p> <p>1) 「平成 27 年度食品産業グローバル展開インフラ整備事業のうち食品規格基準等 調査」</p> <p>6 月 12 日入札締切りの入札に参加する予定。</p> <p>事業内容の概要は下記の通り</p> <p>2009 年から継続事業で本年度は 7 年目。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Database の拡充。 ・ 新規調査国：UAE、ブラジル ・ 新規調査対象食品等：菓子、レトルト食品、めん類、製造工程認証 <p>2) 「平成 27 年度輸出環境整備推進委託事業のうち輸入規制対策緊急調査（日本産）委託事業」（仮） 規制国のアカデミアを招きサイエンティフィックにデータを開示し理解を深めて貰う事業で入札を検討中。</p> <p>4. その他</p> <p>1) 本部の動き（WHO）について報告されました。 ILSI 本部は WHO のオフィシャルパートナーとして登録されていたが WHO より定款並びにメンバー会社の問題でオフィシャルパートナーとして継続しないとの通知があり、今後オフィシャルパートナーの表示はできないこととなった。早急の回復を目指す。</p> <p>2) 研究部会の改廃 1 年間活動のない研究会は廃止することとする。</p> <p>3) 賛助会員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フードプロダクトの販売を行っていない企業を賛助会員として認め活動内容を運用として別表で定める。総会への参加については今後検討する。 ・ 別件となるが、ILSI Japan メンバー会社の増加は常に検討する。
7, 8 月	
9, 10 月	<p>第 3 回理事会を平成 27 年 10 月 14 日 10 時より開催した。</p> <p>1. 審議事項</p> <p>議案 1. 理事選任の件</p> <p>議案 2. 監事選任の件</p> <p>2. 審議の経過の概要及び議決の結果</p> <p>山口事務局長より下記議案につき提案があった。</p> <p>議案 1. 理事選任の件</p> <p>理事高瀬光徳氏の辞任に伴い後任理事候補として阿部文明氏（森永乳業株式会社素材応用研究所所長）が提案され異議なく承認された。新理事の任期は前理事の残存任期平成 28 年 2 月 24 日までとする。</p> <p>議案 2. 監事承認の件</p> <p>監事伊藤建比古氏の辞任に伴い後任監事候補として小路正博氏（株式会社森永生科学研究所代表取締役社長）が提案され異議なく承認された。新監事の任期は前監事の残りの任期平成 28 年 2 月 24 日までとする。</p> <p>3. 報告事項</p> <p>山口事務局長が下記内容を報告した。</p> <p>1. 第 7 回「栄養とエイジング」国際会議の収支見込み及び来場者数</p> <p>○収支見込み</p> <p>収入は 4,020,000 円で予算に対し約 2,500,000 円不足した。 主な要因は会員寄附金が約 2,100,000 円不足・登録料約 500,000 円不足した。</p> <p>支出は約 7,740,000 円で予算に対し約 1,800,000 円節減した。 主な要因は会場・備品費約 730,000 円節減・同時通訳関連費約 550,000 円超過・講師関連宿泊費及び交通費等約 680,000 円節減・その他約 940,000 円節減した。</p> <p>収支差額はマイナス約 3,740,000 円で予算に対しマイナスが約 720,000 円超過した。 収支差額のマイナス約 3,740,000 円については、東大寄付講座事務局費用を充当し、第</p>

	<p>7回「栄養とエイジング」国際会議の収支差額はゼロとする。</p> <p>○来場者数 参加総数 175 名 内訳：会員企業 57 名 非会員 9 名 学生 3 名 座長・講師等関係者 106 名</p> <p>2. 本部総会関連情報 2016 年本部総会は 1 月 22 日より 1 月 27 日までフロリダで開催される。 サイエンスシンポジウムで ILSI Japan から「腸内菌叢の研究について」発表を予定している。</p> <p>3. 支部運営関連 2016 年度理事長等の役員の人選について討議した。</p> <p>4. その他 12 月に理事会を開催したい。内容は、① 本部総会にて ILSI Japan から報告するポスター案の提案、② 支部総会の議案の原案を討議する予定。</p>
11, 12 月	<p>第 4 回理事会を平成 27 年 12 月 4 日 10 時より開催した。</p> <p>○審議事項： 議案 1. 本部理事の交代について 現理事 桑田有氏の後任本部理事候補及び拡大執行役員候補として宮澤陽夫氏（東北大学未来科学技術共同研究センター（NICHe）「戦略的食品バイオ未来技術構築」プロジェクトリーダー・教授）が提案され異議なく承認された。</p> <p>○報告事項 山口事務局長が資料に基づき下記内容を報告した。</p> <p>(1) 本部関係 (1)-1) 本部総会関係スケジュール (1)-2) メキシコ支部活動停止について 砂糖に課税するという政府方針について ILSI メキシコ支部名で反対を表明した。その行為は政治活動にあたり、ILSI の倫理規定に違反するため、本部よりメキシコ支部の活動停止が通達された。日本支部においても十分注意する必要がある。</p> <p>(1)-3) ILSI 本部会長について Dr. Rhona Applebaum 会長が 2015 年 12 月 31 日で退任し Dr. Peter van Bladeren が 2016 年 1 月 1 日より 2017 年総会まで会長に就任する。</p> <p>(2) 支部総会での報告内容 2015 年事業活動報告（案）、2016 年事業活動計画（案）が提示され、次回理事会までに内容を検討し、意見を述べるよう要望した。</p> <p>(3) 理事、監事改選 理事・監事再任者、退任希望者を提示した。メンバー構成を変更し官・学界のメンバーを産業界のメンバーより増加させるか同数になるよう選考を進めたい。</p> <p>(4) 第 7 回「栄養とエイジング」国際会議報告 国際会議レビュー（栄養研究部会）で会員から出された意見・要望が紹介された。次回の理事会にて意見交換を予定している。</p>